明石市立江井島中学校　４２回生　第３学年　学年通信

令和２（２０２０）年8月7日　　NO．２４

自分さがし ３

1学期を振り返って　その１

３年生の貴重な１学期が終わります。

この１学期は切山先生が話をされたように「何でやねん！」と思わざるをえない状況がたくさんありました。思うようにいかず、厳しい場面にたくさん直面しながらも、前を向いて進んでいこうとするみんなのおもいを振り返りの作文から感じることができます。まだまだ状況は厳しいものがありますが、「みんなで乗り越えようね、乗り越えたね」と言える集団に成長しています。進路に対しても不安はあると思いますが、友だちの作文から共有できること、また刺激をもらうことをみつけてみましょう。

●1組　□□□□●　「気付けたこと」

私はこの１学期を振り返ってあっという間のようで長かったなと思いました。なぜかというと、４月から５月末まで新型コロナウイルスの影響で学校が休校になったけど、その分学校に行くのがしんどくなっていたので長く感じました。コロナのせいで悪いことが多かったけど良いこともありました。それは毎日友だちと会って話せることが当たり前じゃないことに気付けたことです。また私が学校を休んでしまって久しぶりに来た時、声をかけてくれる人が多くて嬉しかったです。改めてみんなが優しいなと気付けたのもコロナの良い点でした。この１学期はイレギュラーな始まり方をして、戸惑うことが多かったけど、今普通に学校に行けていることはすごいことなんだと思いました。２学期からもまた大変なことや受験があるけど、１学期間で気付けたことを活かしながら頑張りたいと思いました。

●1組　□□□□●　「新」

新型コロナウイルスの影響で２ヶ月遅れの学校がスタートし、新しいクラス、新しい授業の受け方、新しい給食の食べ方といろいろな場面で新しいことがありました。そこで、新しい生活にすぐに慣れることはできたけど、やっぱり今までの生活がどれだけ恵まれていたことなのかを体験しました。第２波が来ると言われていて陽性の患者が出ているなか、自分たちのすべきことをしっかり徹底していきたいです。学校が始まって２ヶ月がたとうとしています。大好きな体育でゴール型の球技で得点したとき、ハイタッチなど嬉しさを共有するようなことができなくなって少し残念です。しかし、体育ができない学校や学校の関係者にコロナウイルスの患者がでて学校に行けてない人たちもいるので、学校に行けて好きな教科ができるということは本当にうれしいことだと思いました。

●2組　□□□□●　「自分のいい加減さ」

コロナ休みで、自分の怠慢さが最大限に引き出され、学校が始まってもそれは続いていました。頭では「やばいぞ」とかいろいろ分かっているのに、体が動かない自分が大嫌いです。今まではやらなければいけないことは大体できていたはずなのに、休みがあったせいで何もできなくなりました。それは宿題から始まり、勉強や部活などにも影響を与えました。勉強は集中しているけれど長く続かなかったり、部活は準備や整備などが適当になってしまいました。このダメダメな今学期は３年生にもなっても治らなかったので、完全に治すのはあきらめ、認めつつ、自分で自分をムチ打って、それでも無理なら親にもムチを打ってもらおうと思いました。

●2組　□□□□●　「できた所とできなかった所」

僕は今年の１学期は勉強を一番頑張ったと思います。今年は３月頃から新型コロナウイルスに見舞われて、授業の日数が減ったなかでいかに動いて、この受験期を乗り切るか考えたとき、予習をしたらいいと思い、コロナウイルスの影響で休校になっていた時もずっと社会や数学などを予習していました。僕は中２の一番最後の振り返りの時も、予習を一番すると書いていたので、前の目標を達成できて嬉しいです。でもそれをしていくうちに気付いたことがありました。それはこの紙のところにも書いた、先のことばかり気にしすぎて基礎ができなくなっていたことです。例えば社会などでは、世界が関わってくると地理ができないとだめなのですが、地理がとても苦手で困ったことが多くありました。なので、次の目標は予習も復習もするという一番基本だけどできないことをしようと思いました。